

農業を目指す若者の 心理等を踏まえた 実践的対応手法研修会 事業報告書



特徴把握



傾聴



ヒアリング



コンサルティング



コーチング



カウンセリング



P A S O N A

農援隊

目次

第1章 「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」 研修会の実施概要 …… p.4

事業の目的、検討委員会の開催、研修プログラム策定にあたっての重点方針、実施結果の概要（日程・会場・研修参加者数、研修参加者人数について、参加者アンケートの実施、参加者アンケートの結果より一部抜粋、成果の公表）、講師一覧

第2章 研修実施レポート …… p.10

研修のプログラム・ポイント、募集ツール、使用テキストより一部抜粋、研修において受講者にとって重要と思われたポイントについて、研修の結果得られたものについて、受講者の研修での様子について、気付いた点について、本研修に関する課題と今後の改善アイデア

第3章 参加者アンケート調査結果 …… p.18

第1章
「農業を目指す若者の
心理等を踏まえた実践的対応手法」
研修会の実施概要



事業の目的

平成22年度において、農業就業人口は約261万人で15年間で4割減少、農業者の平均年齢は65.8歳（農水省「農林業センサス」より）と、担い手の不足、高齢化が進んでいます。一方、新規就農者における、将来の担い手として期待される39歳以下の就農者は、近年ほぼ横ばいで推移しておりますが、平成23年度で約1万4,000人（農水省「新規就農者調査」等）となっています。

新規就農する理由には「農業、農村の生活、自然や動物が好き」などの生き方としての理由と、「努力の結果が見える」「自らの判断で経営ができる」といったビジネスとしての魅力を感じる方々が多くいます。このように、新規就農に対する価値観や魅力は年々向上しているように思われます。

一方、約1万4,000人の約3割が、生計の目処が立たないこと等から数年以内に離農し、青年新規就農者が基幹的農業従事者として定着するのは約1万人程度となっており、持続的で力強い農業構造を実現するためには、これを倍増することが求められています。

そのような状況の中、農業関係の学校・研修教育機関からの就農者は年間約2,500人で、そのうち、全国の道府県の農業大学校等（約46校）卒業からの就農が約1,000人の約40%を占めており、将来の地域農業のリーダーとなる就農者輩出の重要な中核教育機関となっています。反面、全国の道府県の農業大学校等では年間約2,000人が卒業しており、その約50%の約1,000人が就農という現状で、将来の地域農業のリーダーとなる就農者輩出増加のために、就農率を高める指導力強化が求められています。

指導力の強化を図ることで、学生個々人の就農への課題解決・モチベーション向上、新規就農への魅力の発信、就農（社会人）の基礎知識習得など教育環境を整えることが可能になり、就農率向上に繋がると考えます。

つきましては、本事業において、将来の地域農業のリーダーとなる人材の層を厚くするため、地域の農業経営者育成を担う人材、具体的には農業大学校などの地域の農業経営者育成の中核教育機関の講師や研修生を受け入れている農業者、就農相談を業務としている方等を対象とした、指導力強化を図るための取組を実施するという事業趣旨のもと、弊社として本事業を実施するにあたり、農業技術や経営技術等を指導する土台作りとなる、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法（青少年の心理等を踏まえた教育手法）について研修会を開催しました。

本事業の実施によって、地域の農業経営者育成の中核教育機関の講師等の、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法（青少年の心理等を踏まえた教育手法）の習得という指導力強化がなされ、指導を受ける新規就農希望者等の満足度向上・的確な指導の実施により、地域の新規就農希望者等の就農率向上、及び、農業経営力を備えた将来の地域農業のリーダーとなる人材の輩出増加に寄与されればと願っております。

検討委員会の開催

本事業を推進するにあたり、事業実施方針の検討や研修内容の検討、次年度以降の実施方針の策定を目的とし、検討委員会を設置・開催した。

検討委員会については、農業分野における指導者養成に関する知見・ノウハウを有する、全国の農業の支援者、専門家、学識経験者等、様々な立場の有識者からなる組織とし、それぞれの意見により、目的達成のための効果的な研修内容とすべく評価・検討を行った。

【「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会】

委員名	所属
権堂 千栄実 氏	株式会社 Campanula 代表取締役
庄司 和弘 氏	ホライズンコンサルティンググループ株式会社 代表取締役
四本 和臣 氏	株式会社K3ロジスティクス 代表取締役

(50音順)

○第1回 検討委員会

日時：2013年10月30日（水）13:30～15:30

場所：パソナグループ本部ビル9階Bルーム（〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4）

議事：1.「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会の事業概要について
 （本事業の概要、研修実施日・研修実施地域・研修会場、受講生の募集方法・広報ツール、研修プログラム概要）
 2.「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会の研修プログラムの内容について

○第2回 検討委員会

日時：2014年3月18日（火）13:30～15:00頃

場所：パソナグループ本部ビル1階Bホール（〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4）

議事：1.平成25年度「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会の事業結果について
 2.次年度以降に向けた実施方針について

研修プログラム策定にあたっての重点方針

第1回の検討委員会での結果を受け、研修プログラムについては下記の点を重点方針として設定しました。

- ・研修の狙いとして、研修では、現代の若者の特徴を把握する手法、自立した就農活動に向けた支援方法等、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の知識・ノウハウを習得させ、また、理論だけでなく、演習（セルフワーク、ペアワーク、グループワーク）や受講レポート等、受講者が自らアウトプットする機会を豊富に設け知識・手法・ノウハウの理解度を高め、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の実践力を習得させ、農業経営者育成のための指導力向上を高めるものとする。
- ・演習（ペアワーク、グループワーク）により、受講者同士の地域の課題や実践方法の情報収集、研修における受講者同士の様々なアイデアを知れるようにし、また、受講者同士の広域に渡るネットワークが構築できるようにする。
- ・受講者に受講レポートを作成して貰い、感想や疑問点等を逐次確認・解決するようにする。
- ・全国の参加者の、参加に関わる負担を軽減し参加しやすくするため、全国8箇所（北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国・四国、九州 ※農政局所在県及びその周辺のアクセスを考慮した県）で研修会を実施する。
- ・講師には、キャリアカウンセラーや大学講師として、若者の心理等を踏まえた教育や指導を現場で実践しており、且つ、農業分野における知見を有し、新規就農希望者・新規就農者・農業経営者・6次産業化プランナー等に対する研修をはじめとした支援実績も豊富な講師陣を活用する。

実施結果の概要

【日程・会場・研修参加者数】

研修日程	開催地	研修場所	住所	研修参加者数
2013年12月18日(水) 19日(木)	愛知県	愛知県青年の家	〒444-0802 愛知県岡崎市美合町並松1-2	7
2013年12月24日(火) 25日(水)	北海道	NTT北海道セミナーセンター	〒064-0922 北海道札幌市中央区南22条西7丁目	11
2013年12月25日(水) 26日(木)	石川県	石川県青少年総合センター ユースパルいしかわ	〒920-0834 石川県金沢市常盤町212-1	4
2014年1月8日(水) 9日(木)	京都府	京都トラベラーズイン	〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町91	8
2014年1月15日(水) 16日(木)	岡山県	岡山県青年館	〒700-0081 岡山県岡山市北区津島東1-4-1	10
2014年1月29日(水) 30日(木)	福岡県	クローバープラザ	〒816-0804 福岡県春日市原町3丁目1番7号	6
2014年2月5日(水) 6日(木)	東京都	パソナグループ本部(東京)	〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4	13
2014年2月24日(月) 25日(火)	岩手県	国立岩手山青少年交流の家	〒020-0601 岩手県滝沢市後292	4
参加合計人数				63

(うち1名、1日目のみ)

【研修参加者人数について】

本事業における研修の参加者は、参加者を派遣する農業大学校等の研修派遣予算・計画やスケジュールの確保の問題等から開催エリア毎の差は見られたものの、8つの開催地において計63名(うち1名、1日目のみ)の参加が得られました。開催地毎の参加者数の詳細は上記の表のとおりとなります。

【参加者アンケートの実施】

本事業で実施した研修の効果確認を目的として研修参加者に対するアンケート調査を実施しました。

■調査対象者:各開催地の研修会を2日間とも修了した対象者:62名(内訳:農業大学校18・農業高校3・地域農業教育機関6・自治体職員(農業関係)12・JA職員2・地域農業支援団体5・農業者8・その他8)

■調査方法:各開催地の研修会毎、研修最終日(2日目)にアンケート票を配布し、回収しました。

■調査日:2013年12月19日(木)、12月25日(水)、12月26日(木)、2014年1月9日(木)、1月16日(木)、1月30日(木)、2月6日(木)、2月25日(火)

■回収数:62名(回収率:100%)

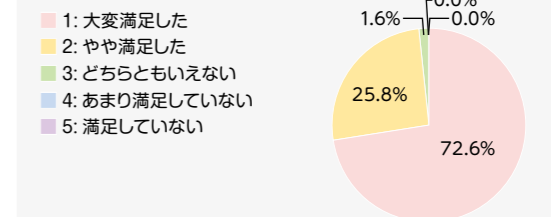
アンケート調査の結果については、第3章18ページ以降にて整理を行いました。

【参加者アンケートの結果より一部抜粋】

研修の満足度

Q5-1	人数(人)	割合(%)
1: 大変満足した	45	72.6
2: やや満足した	16	25.8
3: どちらともいえない	1	1.6
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0

問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。



研修の参加動機

Q1	人数(人)	割合(%)
1: 研修内容に興味があったから	37	59.7
2: 講師に興味があったから	3	4.8
3: 指導の現場の課題解決につなげられたから	31	50.0
4: 講師や他の参加者との交流を期待して	12	19.4
5: 上司等からの指示があったから	33	53.2
6: その他	5	8.1

事業継続と社会コスト投入の意義

Q13	人数(人)	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	18	29.0
2: 意義を感じる	31	50.0
3: どちらともいえない	11	17.7
4: 意義をあまり感じない	2	3.2
5: 意義はない(これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

本研修を受講すべきだと思う人材について

Q16	人数(人)	割合(%)
1: 農業大学校などの地域の農業経営者育成の教育機関の講師の方	41	66.1
2: 農業高校などの地域の農業教育機関の講師の方	30	48.4
3: 研修生を受け入れている農業者の方	32	51.6
4: 農業分野の支援者・コーディネーターの方	23	37.1
5: JA 営農支援担当の方	20	32.3
6: 自治体の普及主務課担当の方	19	30.6
7: 自治体の農林水産部門担当の方	15	24.2
8: 就農相談を業務としている方	31	50.0
9: その他	2	3.2
10: 未回答	7	11.3

【成果の公表】

当該事業の実施結果として当該事業報告書を印刷し関係各所へ配布するとともに、弊社ホームページ(<http://www.pasona-nouentai.co.jp/>)に掲載を行います。

講師一覧

重点方針に則り、講師には、キャリアカウンセラーや大学講師として、若者の心理等を踏まえた教育や指導を現場で実践しており、且つ、農業分野における知見を有し、新規就農希望者・新規就農者・農業経営者・6次産業化プランナー等に対する研修をはじめとした支援実績も豊富な弊社講師陣を活用しました。


※本講師陣は弊社にて実施した、農林水産省 平成 24 年度6次産業化人材育成研修会「コーチング研修会」（6次産業化プランナー、ボランティアプランナー向け）の講師でもあります。

講師名	プロフィール	対応日程・開催地域
株式会社 Campanula 代表取締役 権堂 千栄実 氏 	<p>【資格・職位】 キャリアカウンセラー（日本キャリア開発協会認定 CDA） マイクロソフト株式会社認定オフィシャルトレーナー（MOT） 個人情報保護管理者（日本プライバシー協会認定 CPP） 日本経済大学 / 香蘭女子短期大学 非常勤講師 株式会社バソナ農援隊 農林漁業ビジネス経営塾講師 （新規就農希望者向け研修実績多数）</p> <p>【経歴】 OA インストラクターとしての活動を皮切りに、2003 年 3 月より大手通信企業の業務研修及び、接客マナー研修の講師としての活動も開始。大手通信企業の専任講師を担当する傍ら、2006 年にキャリアカウンセラー CDA を取得。様々な企業からのマナー研修やコミュニケーション研修の講師、人事採用等の面接官、大学生向けの就職フェアでのキャリアカウンセラーなど、活動の幅を広げる。2007 年 11 月に、某企業の副社長様より起業の勤めを受け 2008 年 2 月株式会社 Campanula を設立。キャリアカウンセラー歴 7 年、マナー講師歴 9 年、OA インストラクター歴 13 年。キャリア教育やキャリア構築、マナー教育に関する研修を中心に研修事業や人材教育事業を展開されている。弊社において、農業分野の緊急雇用対策事業（新規就農希望者向け）などの研修実績多数。農林水産省 平成 24 年度6次産業推進中央支援事業6次産業化人材育成研修会（コーチング研修会）講師。</p>	愛知県開催 2013年12月18日(水)、 19日(木) 石川県開催 2013年12月25日(水)、 26日(木) 福岡県開催 2014年1月29日(水)、 30日(木) 東京都開催 2014年2月5日(水)
ホライズンコンサル ティンググループ株式会社 代表取締役 庄司 和弘 氏 	<p>【資格・職位】 食の6次産業化プロデューサー レベル4 認定 キャリアカウンセラー（日本キャリア開発協会認定 CDA） 農林水産省 6次産業化ボランティアプランナー 食品供給研究センター認定食農連携コーディネーター （社）日本経営士協会 経営士（経営部門登録） 財団法人みやぎ産業振興機構登録専門家 株式会社バソナ農援隊 農林漁業ビジネス経営塾講師 （新規就農希望者向け研修実績多数）</p> <p>【経歴】 6次産業化プランナー、食農連携コーディネーターとして、農林漁業者の所得向上を支援するため、各地域の資源を活用した商品開発や産業連携、販売・生産計画の立案から販路開拓の支援等、6次産業化のアドバイザーとして全国で活躍。震災後は笑顔プロジェクト、お悩みネットを立ち上げ、バソナグループとも連携し水産加工会社、直売所等多くの事業再開支援を行う。弊社において、農業分野の緊急雇用対策事業（新規就農希望者向け）、新規就農者・農業法人等の若手リーダー・農業経営者に対する研修など実績多数。農林水産省 平成 24 年度6次産業推進中央支援事業6次産業化人材育成研修会（コーチング研修会）講師。</p>	北海道開催 2013年12月24日(火)、 25日(水) 東京都開催 2014年2月5日(水)、 6日(木) 岩手県開催 2014年2月24日(月)、 25日(火)
株式会社K3ロジスティクス 代表取締役 四本 和臣 氏 	<p>【資格・職位】 食品供給研究センター認定食農連携コーディネーター 6次産業化プランナー（IB） 有機 JAS 認定指導員 日本経済大学 非常勤講師 株式会社バソナ農援隊 農林漁業ビジネス経営塾講師 （新規就農希望者向け研修実績多数）</p> <p>【経歴】 6次産業化コンサルタントとして九州・中国地域で6次産業化申請方法・事業計画策定支援等で活躍中。また、有機 JAS 認定に関する指導員として、全国の農業生産者向けに有機 JAS の認証制度研修や事前コンサルティングで活躍中。新規就農者・農業経営者向け研修など多くの農業関連に関する研修講師として活動するとともに、日本経済大学においてアグリベンチャーの立ち上げ等も指導。弊社において、農業分野の緊急雇用対策事業（新規就農希望者向け）、新規就農者・農業法人や集落営農等の若手リーダー・農業経営者に対する研修など実績多数。農林水産省 平成 24 年度6次産業推進中央支援事業、6次産業化人材育成研修会（コーチング研修会）講師。</p>	愛知県開催 2013年12月18日(水)、 19日(木) 京都府開催 2014年1月8日(水)、 9日(木) 岡山県開催 2014年1月15日(水)、 16日(木)



第2章

研修実施レポート



【研修のプログラム・ポイント】

1日目 10:00～17:00

時間	内容	詳細
60分	1. オリエンテーション	・事務局連絡、会場案内 ・研修の目的、タイムスケジュールの紹介 ・講師自己紹介、グループ内での自己紹介
60分	2. 現状把握	・グループワーク 受講者が抱える課題点、懸念事項を話し合う。担当する農業を目指す若者がどのような状況であるか、全員で情報をシェアする。
60分	3. 青少年の特徴把握I	・講義 社会環境の変化から、若者の特徴が多様化している、社会環境が、どのように移り変わり、そこからどのような問題が生じているのかを学ぶ。
60分	4. 青少年の特徴把握II	・講義&セルフワーク エゴグラム(交流分析)を用いて、大まかに個人の特徴を把握する手法を紹介。エゴグラム実施後、若者の特徴把握をするヒアリングについて講義&演習
90分	5. 青少年支援基礎	・ペアワーク&グループワーク 若者支援の基礎、傾聴について講義&演習(特にヒアリングと傾聴の違いを体感する) 支援スキル(コンサルティング、コーチング、カウンセリング)の違いを講義&演習
30分	6. 研修総括	・研修総括、レポート作成

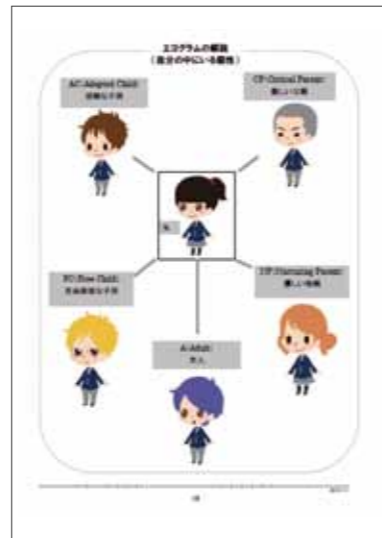
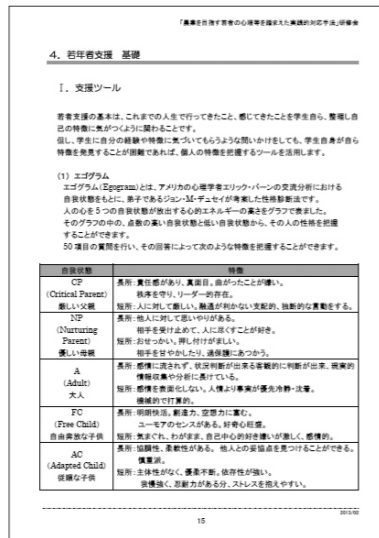
2日目 10:00～17:00

時間	内容	詳細
60分	1. オリエンテーション	・事務局連絡、会場案内 ・研修の目的、タイムスケジュールの紹介 ・昨日の復習 研修ゲームを用いて、傾聴・ヒアリングの練習
90分	2. 事例検討I	・ケースワークI(ペアワーク&グループワーク) 前日の現状把握で紹介された農業を目指す若者のケースを事例にし、昨日の学びを演習で確認する。 その後、グループ内で感想を話し情報をシェアする。
90分	3. 事例検討II	・ケースワークII(ペアワーク&グループワーク) 前日の現状把握で紹介された農業を目指す若者のケースを事例にし、昨日の学びを演習で確認する。 その後、グループ内で感想を話し情報をシェアする。
90分	4. 支援方法の確認	・全体発表&講義 事例検討から出た、懸念事項・課題点を全体でシェアする。 懸念事項・課題点に対して講師が解説。 1日目で習得した知識・ノウハウの具体的な活用方法について解説。 詳細は以下のとおり。 ・就農支援へのエゴグラムの活用手法 ・就農課題の整理を行うカウンセリング手法 ・傾聴やコーチングから就農に向けて自発的・自立的な姿勢を育てる手法 ・就農までの各段階に応じた事業計画作成などの具体的な支援方法 2日間の研修を通しての質疑応答
30分	5. 研修総括	・研修総括、レポート作成

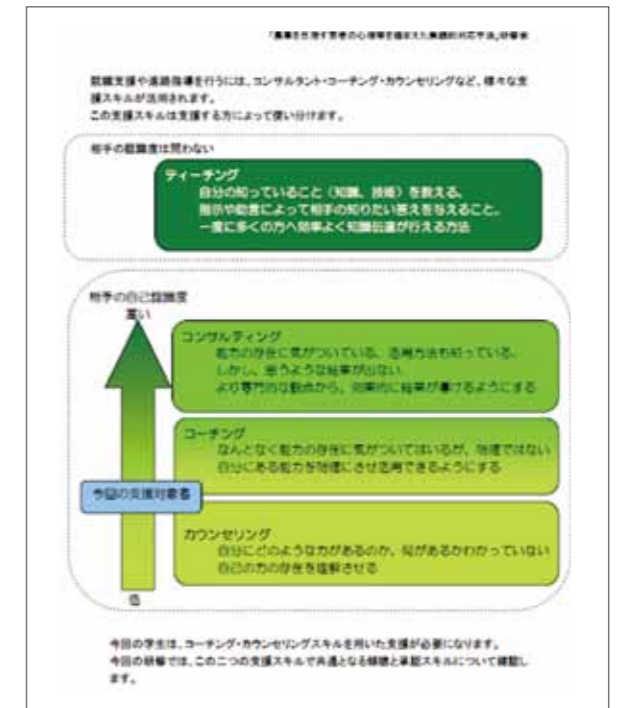
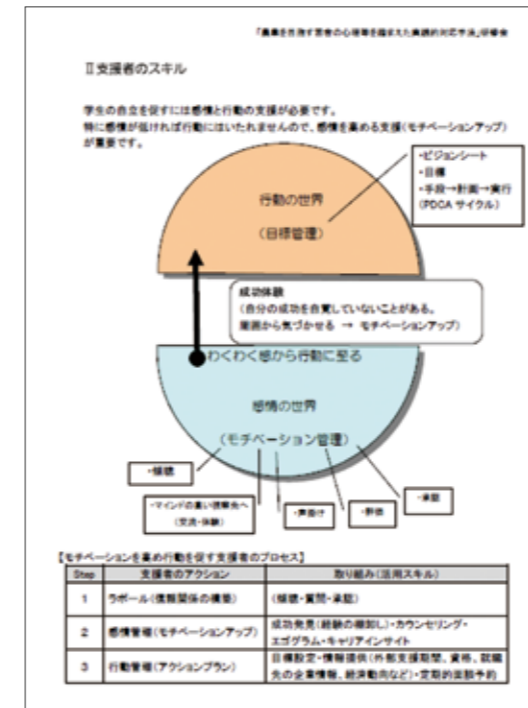
【募集ツール】



【使用テキストより一部抜粋】



【使用テキストより一部抜粋】



「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会

若年者支援 基礎 P28 セルフワーク

特徴	マッチング (仕事内容・働き方)
AC	<ul style="list-style-type: none"> 今まで人から頼まれたことで、頑張って取り組んだことは何かありますか? 自分はその気は無かったけど、なんとなく長い間続けてきたことはありますか? もし動物に生まれ変われるとしたら、どんな動物になりたいですか?

「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会

若年者支援 基礎 P32 セルフワーク

特徴	承認フレーズ
FC	<ul style="list-style-type: none"> アイディアマンなんですね。 何でも挑戦してみようと思えるのはすごいですね。
AC	<ul style="list-style-type: none"> 周囲に対しての気配りが素晴らしいですね。 人から頼りにされているんですね。

※自己肯定感が低い人は承認されたことに戸惑います。その際は再度、学生の背景の把握が必要です。

「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会

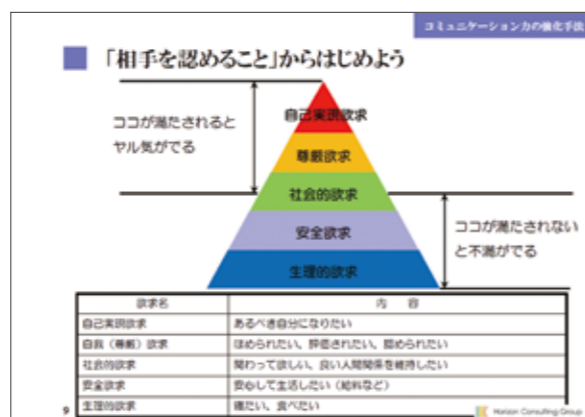
若年者支援 基礎 P22 ポイント

学生支援が上手くいかないパターン

- 過度な誘導
- 尋ね口調
- 圧力(圧迫)対応
- 否定的
- 急がせ、焦らせる

相手の抱えている問題を掘起し、その問題に対する解決策を自分で考えられるようにする
そのためには...

傾聴・承認・質問 スキルが欠かせません



「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会

成長を引き出す効果的な質問

- 視点を広げる
- 未来を予測する
- リソースを探す
- モデルを探す
- 課題をはっきりさせる
- 物事を具体化する
- ビジュアル化する
- 気づきやひらめきを促す
- 目標を設定する
- 課題を特定する
- 考えを喚起する
- アイデアを発展させる
- 知識、スキルを喚起しする

的確で刺激的な質問は、相手を創造的にし、行動的にする

「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会

事例検討 P41 パワーワーク+1

- 役割を決めましょう
- 学生役、支援者役になり演習を行いましょう。面談をしながら、別紙のワークシートの作成を行いましょう (25分)
- オブザーブ役が中心となり支援者役にフィードバックを行いましょう (5分) 支援者はP42に内容をメモしましょう。

※講師が合図をしたら、役割を交代しましょう。

【研修において受講者にとって 重要と思われたポイントについて】

■若年者への接し方に悩みを抱えていた方が見受けられました。その方々が、自分だけが悩んでいるわけではない、自分の指導方法が悪かったわけではない、社会的変化を再認識し、新しい指導方法、新しい育成方法を考える時代が来ていること、この点で情報共有できたことが、重要だったと感じました。

■今回の研修の大きなポイントは、若年者に対して、
・「農業」について、興味や関心を高めること
・就農後の定着率を高めること
だと思われます。

価値観が多様化した現在、指導者が「向いている方向」を指し示すことは困難であり、今までのティーチングという手法では限界があると思います。

今回の研修においては、ティーチングという関わり方の他にコーチングやカウンセリングという関わり方があるということ、そしてそのテクニックについて学ぶ研修でした。

受講者の中には、コーチングやカウンセリングの知識はある方もおられましたが、ワークショップでは、まだまだティーチング的な関わり方が抜けない方も多いようでした。

日々の関わり方に、意識してコーチング、カウンセリング行っていたことが重要であると思います。

■今回の受講者については、上司からの指示で参加された方も多く講義スタート時点での興味はあまりなく、どのような講義なのか受講者は様子見の感がありました。

講義を進める中で現状の若者の考え方や置かれた環境などにより、何を質問すればよいのかが判らない若者が多いこと、またコーチングのベースである「答えは相談者の中にある」という所に興味を示された方が多かったように思います。

これは通常の業務では受講者側からアドバイスを出すことが多く指導することが当たり前だという感覚から、答えを相談者側から引き出すという新しい考え方が新鮮に感じられたのだと思いました。



【研修の結果得られたものについて】

■指導方法、若年層への接し方の見直しに繋がったと思います。すべての方ではないですが新たな指導方法、育成プランを考えることができたと思います。

■カウンセリングやコーチングスキルの醸成が一定の範囲で得られたと思います。また五感を使った達成体験を積み重ねることの重要性も感じて頂いたと思います。

■通常の業務では相談者に対してアドバイスをする事が多く、指導するのではなく、相談者の中に答えがあり、それを引き出すこと、相談者と一緒に考えて答えを導き出すこと、この手法の全般に傾聴（聞くこと）が普段出来ていないことを実感することができたようでした。

また質問にしても相談者が自覚するための質問など普段の業務では考えていない事のように、新たな手法として実践に役立つと思います。また承認手法についても、ただ認めるだけではない事を理解し、相談者に沿った承認の仕方を理解したと思います。

【受講者の研修での様子について】

■今回のような相手の心理を把握するような研修は無かったと受講者の方はおっしゃっており、皆さん、真剣に取り組んでいました。特に2日目のロールプレイングで、質問テクニックを活用したり、傾聴を意識しながら会話をしたり、非常に熱心に取り組んでいました。

■熱心に受講している方が多かったと思います。しかし、知識偏重で「コーチング」や「カウンセリング」はわかっているという態度の受講者もありました。

■研修中についてはワークが多かったので積極的な参加とワーク後の振り返りなどで受講生が気づいた点など積極的な発表があり、受講生同士の情報共有も上手くいったと思います。

【気付いた点について】

■会場すべてで聞かれた声として、このような研修が無かったという意見でした。知識的な研修が多い中で、その得た知識を実際の現場でどのように活用するかまで踏み込んだ研修が無かったようです。

このような実践的な研修が教育現場では強く求められていると感じました。



【本研修についての課題と 今後の改善アイデア】

■これも実施会場で聞かれた意見ですが、このような研修回数を増やして欲しい、可能なら、各県やもしくは、エリアごとの実施回数を増やして欲しいとのことでした。

また、今回の研修で終わらず、定期的な開催にしてこの研修を受けた後で発生する疑問や新たな課題を解決するためのフォロー研修が求められていると思います。

一過性の研修ではなく、継続的な研修としての企画が必要なのではないでしょうか。

■ワークショップ主体の研修であるため、最低でも6人ぐらいの受講者がほしいので、集客について何らかの手段を考えなければならないと思います。

大学講師、生産者など受講者が分かれてしまった場合、どちらに的を絞って研修を進めればよいか迷いますので、ある程度ターゲットは絞ったほうがよいと思います。

■今回の受講生は農業大学校・農業高校の教員が中心でしたが、6次産業化のプランナーや自治体の担当者などについても同じような研修が必要に感じました。

また、若者心理だけでなく農業者・漁業者と若者のコミュニケーション能力の研修なども必要に感じました。これは法人就農した若者と農業経営者間でのコミュニケーション不足による農業離れもありそうなので必要だと思います。

ただしコーチングのテクニックだけでは農業者のコミュニケーションははかれませんがコミュニケーション能力のセミナーが必要に思いました。



権堂千栄実氏



庄司和弘氏



四本和臣氏



第3章

参加者アンケート調査結果

本事業で実施した「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会の成果を把握するため、参加者アンケートを実施しました。その結果を第3章にて示します。

参加者アンケートの実施概要

【アンケート実施の狙い】

本研修の狙いとして掲げた、「現代の若者の特徴を把握する手法、自立した就農活動に向けた支援方法等、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の知識・ノウハウを習得させ、また、理論だけでなく、演習（セルフワーク、ペアワーク、グループワーク）や受講レポート等、受講者が自らアウトプットする機会を豊富に設け知識・手法・ノウハウの理解度を高め、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の実践力を習得させ、農業経営者育成のための指導力向上を高めるものとする」とに対し、参加者全員に対するアンケート調査を実施しました。

その結果を示します。

【調査対象・方法等の概要】

- 調査対象者：調査対象者：各開催地の研修会を2日間とも修了した対象者：62名
（内訳：農業大学校 18・農業高校 3・地域農業教育機関 6・自治体職員（農業関係） 12・JA 職員 2・地域農業支援団体 5・農業者 8・その他 8）
- 調査方法：各開催地の研修会毎、研修最終日（2日目）にアンケート票を配布し、回収しました。
- 調査日：2013年12月19日（木）、2013年12月25日（水）、2013年12月26日（木）、2014年1月9日（木）、2014年1月16日（木）、2014年1月30日（木）、2014年2月6日（木）、2014年2月25日（火）
- 回収数：62名（回収率：100%）

平成25年度 農林水産補助事業
 平成25年度新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援
 「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会
アンケート 全開催分

アンケート回収人数	62人	1日目 参加人数	63人
		2日目 参加人数	62人

研修期間・実施場所

日程	開催地機	会場	参加人数
2013年12月18日(水)、19日(木)	愛知県	愛知県青年の家	7
2013年12月24日(火)、25日(水)	北海道	NTT北海道セミナーセンター	11
2013年12月25日(水)、26日(木)	石川県	石川県青少年総合センター ユースパルいしかわ	4
2014年1月8日(水)、1月9日(木)	京都府	京都トラベラーズイン	8
2014年1月15日(水)、16日(木)	岡山県	岡山県青年館	10
2014年1月15日(水)、16日(木)	福岡県	クローバープラザ	6
2014年2月5日(水)、6日(木)	東京都	パソナグループ本部ビル(東京)	13
2014年2月24日(月)、25日(火)	岩手県	国立岩手山青少年交流の家	4
		参加合計人数	63

(うち1名、1日目のみ)

【研修参加の目的や実施時期・期間】

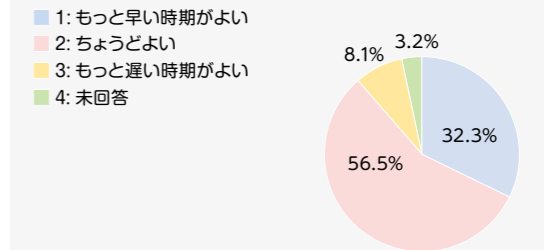
問1 研修に参加された動機は何ですか。(複数回答可:3つまで)

Q1	人数(人)	割合(%)
1: 研修内容に興味があったから	37	59.7
2: 講師に興味があったから	3	4.8
3: 指導の現場の課題解決につなげなかったから	31	50.0
4: 講師や他の参加者との交流を期待して	12	19.4
5: 上司等からの指示があったから	33	53.2
6: その他	5	8.1

問2 実施時期はいかがでしたか。

Q2	人数(人)	割合(%)
1: もっと早い時期がよい	20	32.3
2: ちょうどよい	35	56.5
3: もっと遅い時期がよい	5	8.1
4: 未回答	2	3.2

問2 実施時期はいかがでしたか。



問3 実施時期はいつ頃がご希望でしょうか。

(愛知県開催)

- 2月
- 今頃
- 8月
- 6~7月
- 夏休み頃
- 多くの先生に参加してもらうためには夏季、冬季休業中

(北海道開催)

- 10月か11月
- 2月くらい
- 11月下旬~12月上旬
- 12月上旬
- 2月
- クリスマスや年末年始は避けてほしい
- 8~9月

(石川県開催)

- 年末・年度末以外
- 11月頃
- いつでもよい

(京都府開催)

- 1月
- 2月中旬
- 土日を希望します(業務出張で参加していないため)

(岡山県開催)

- 夏休み頃(8月)
- 1、2月頃
- 就職相談が始まる前
- 夏までに
- 年末・年始

(福岡県開催)

- いつでもよい
- 9月頃
- 1月

(東京都開催)

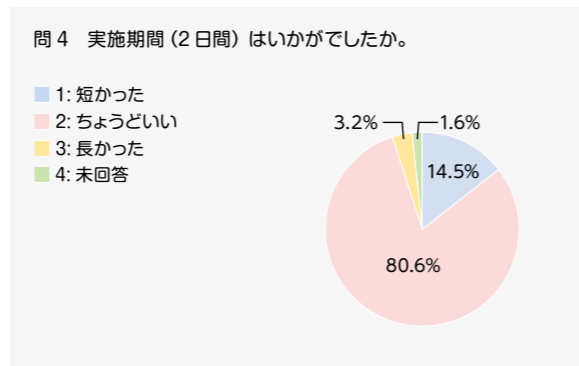
- 受講者にもよるがいつでもよいと思う
- 4月
- 8月~9月(できれば夏休み中)
- 4月~8月
- 特になし
- 11月~12月上旬

(岩手県開催)

- 冬
- 9月~10月

問4 実施期間(2日間)はいかがでしたか。

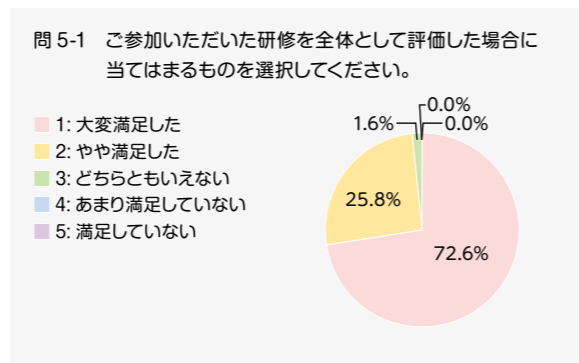
Q4	人数(人)	割合(%)
1: 短かった	9	14.5
2: ちょうどいい	50	80.6
3: 長かった	2	3.2
4: 未回答	1	1.6



【研修の実施体制等の評価】

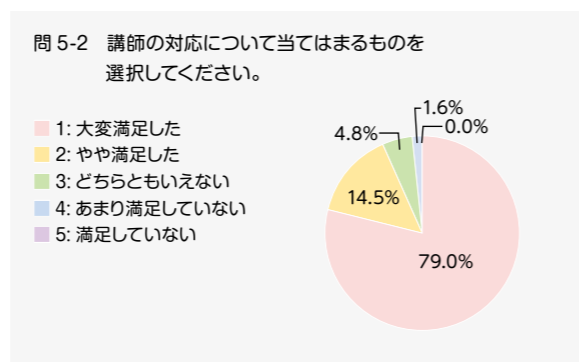
問5-1 ご参加いただいた研修を全体として評価した場合に当てはまるものを選択してください。

Q5-1	人数(人)	割合(%)
1: 大変満足した	45	72.6
2: やや満足した	16	25.8
3: どちらともいえない	1	1.6
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0



問5-2 講師の対応について当てはまるものを選択してください。

Q5-2	人数(人)	割合(%)
1: 大変満足した	49	79.0
2: やや満足した	9	14.5
3: どちらともいえない	3	4.8
4: あまり満足していない	1	1.6
5: 満足していない	0	0.0



(理由・コメント)

(愛知県開催)

1. 研修内容に特に不満はないが、「農業を目指す若者の心理」に対する分析がほしかった。
2. 的確な助言指導で納得できた。
3. 実際に数多くの学生等に対応されており、事例も豊富でアドバイスもわかりやすかったです。
4. 若者に対する相談対応、手法についてわかりやすく研修を受けることが出来たため。
5. 気さくに話して下さり、様々な情報交換ができた。いくつかの示唆もいただいた。
6. わかりやすく、定着する事に重点をおいた内容であった。

(北海道開催)

1. 演習が多くわかりやすい。
2. ほめ方が上手だと思う。
3. とても勉強になりました。
4. 非常に理解しやすい構成でした。

(石川県開催)

1. 大変丁寧に細かく教えていただいた。
2. 参加者が少なかつたためか、濃密な指導をしてもらえた。

(京都府開催)

1. 実際、農業生産をやられていたのでお話がわかりやすかったです。
2. 講師は公私共に我々と一緒に動かれ、よかったです。
3. グループ活動も状況に応じて対応していただき、感謝します。
4. 具体例が豊富でわかりやすかった。

(岡山県開催)

1. 具体的な事例と心に残る言葉が多かつたから。
2. 経験を踏まえ、非常に分かり易くご説明頂いたため。
3. ワークショップ主体の研修だったので、自分の現状・問題点が明確に意識できてよかつた。
4. 講師の話は大変参考になった。実技についてもう少し様々なケースで技術の習得のできる機会がもっと欲しかった。
5. 四本先生のこれまで取り組んでこられた成功体験(実体験)が非常に勉強になった。
特に一人一人に向き合っているところを手本にしています。

(福岡県開催)

1. 質問に適切に対応していただいた。
2. アドバイスがいつもすばらしかつた。
3. 先生の話の中に新しい気付き、発見があつた。

(東京都開催)

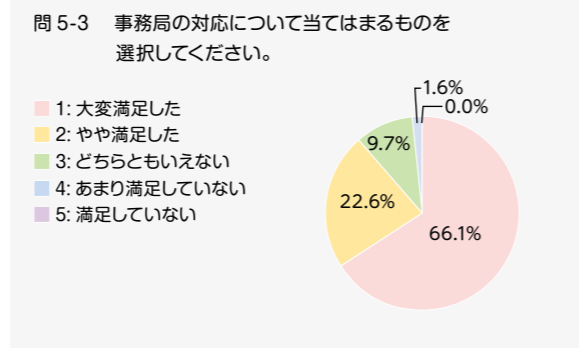
1. 実例が多く参考になった。
2. 親身でした。
3. 説明がわかりやすかつた。
4. 丁寧にわかりやすかつ参加者に合わせて進行していただいたから。
5. 実践的、演習方式で体で覚えられた。

(岩手県開催)

1. 分からない世界を知りえた。
2. 自分の気づかなかつたことを気づけたような気がします。
3. 内容的には対象を絞って、精査して欲しい。講師先生の「自らの言葉」が良かつたです。

問5-3 事務局の対応について当てはまるものを選択してください。

Q5-3	人数(人)	割合(%)
1: 大変満足した	41	66.1
2: やや満足した	14	22.6
3: どちらともいえない	6	9.7
4: あまり満足していない	1	1.6
5: 満足していない	0	0.0



(理由・コメント)

(愛知県開催)

- 丁寧な対応に敬服。
- 2日間不自由なく過ごせました。
- 全体的に丁寧な対応だった。あとは、開催スケジュールの詳細を早めにいただければより良かった。
- 臨機応変の対応がよかった。
- 2日間研修に集中することができた。

(北海道開催)

- シングルに泊まれた。
- 連絡等をしっかりやってほしい。
- 当日対応していただいた中川氏には素晴らしい対応をしていただいたが、事前の連絡対応が不十分だった。
- 宿泊や食事についての事前連絡が遅くわかりづらかった。
- 事前連絡、情報が不十分(研修案内に開講時間未記載、宿泊や食事に関しても不明だったため。何度も問い合わせなければならなかった。)研修当日の対応は素晴らしいです。

(石川県開催)

- 急な参加申し込みをお受けいただきありがとうございました。
- 農政局からの案内が遅い!(ちなみにサラダボールの研修は既に終了していた)

(京都府開催)

- 人とのコミュニケーションの取り方に生かしていけそうです。
- メールも丁寧に対応していただきました。
- 的確な対応、心くばりがとてもうれしかったです。ありがとうございました。

(岡山県開催)

- 非常にお世話になりました。ありがとうございました。
- 部屋が相部屋である場合は事前に教えていただきたい。(宿泊について)
- 食事の時間等、事前に連絡してほしい。
- 何回もやっている内容にもかかわらず、運営が落ち着いていること。懇親会の企画等積極的にグループ意識を高める努力をする。

(福岡県開催)

- 丁寧にご対応いただきありがとうございました。ただ、受講料の事がチラシに入っていなかった。
- 実施場所の考慮を。
- お忙しい中で、とてもよくしていただいた。

(東京都開催)

- 特に滞りない運営だったと思います。
- 参加者一覧があっても良かったかな。(自分で交流するトレーニング)

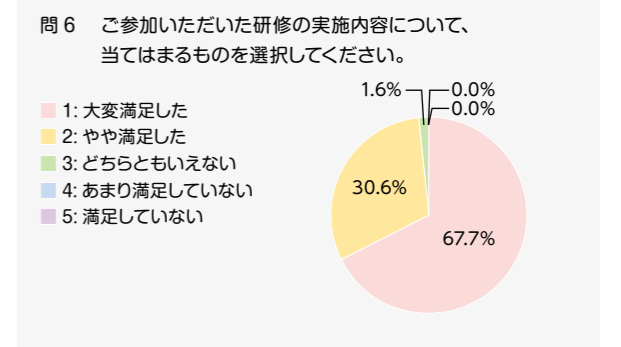
(岩手県開催)

- ミスがあったから(笑)。

【研修の実施内容の評価】

問6 ご参加いただいた研修の実施内容について、当てはまるものを選択してください。

Q6	人数(人)	割合(%)
1: 大変満足した	42	67.7
2: やや満足した	19	30.6
3: どちらともいえない	1	1.6
4: あまり満足していない	0	0.0
5: 満足していない	0	0.0



(理由・コメント)

(愛知県開催)

- 若年支援のスキルについては新たな気付きがあったが、農業を目指す若者ならではの心理について言及がなかった。この時間で全てはムリ。もっと理論を深めてほしい。
- 身のある研修であった。
- 講師の先生が充実していた。臨機応変の対応がよかった。
- 相談時の信頼関係構築のためのスキル等参考になることが多くあった。
- 講義はわかりやすく、ロールプレイングやワークと連動していて確認ができてよかった。

(北海道開催)

- 演習が多くわかりやすい。
- 新しい視点でみれた。

(石川県開催)

- 聞くこと全てが勉強になりました。
- 実際に直結するから。また今後異なる業務でも応用できそうだから。

(京都府開催)

- 傾聴とキーワードのしりとりが印象的でした。
- 現場での応用にあとひと工夫要る。
- ワークショップがあり体験しやすかった。

(岡山県開催)

- 研修目的に少しずれがあった。
- 直近の課題だけに、非常に今後役立てることが出来る。
- 2日目の実践がやや長く感じた。もう少し相談者の情報の事前確認があった方が対応しやすいのでは。
- 技法を十分わかり修得できたとは思えないため。
- 気付きがたくさんあった。

(福岡県開催)

- 相談員の疑似体験ができた。

(東京都開催)

- 後半にやや時間不足を感じた。

(岩手県開催)

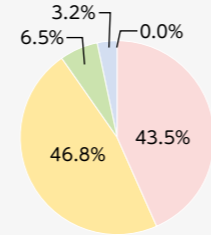
- モチベーションが大切だと再確認できた。
- 人事採用にとっても役に立つ研修でした。
- 対象の絞込み。

問7 現代の若者の特徴を把握する手法、自立した就農活動に向けた支援方法等、農業を目指す若者の心理等を踏まえ教育手法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

Q7	人数(人)	割合(%)
1: よく理解できた	27	43.5
2: 理解できた	29	46.8
3: どちらともいえない	4	6.5
4: 少し難しかった	2	3.2
5: 理解できなかった	0	0.0

問7 現代の若者の特徴を把握する手法、自立した就農活動に向けた支援方法等、農業を目指す若者の心理等を踏まえ教育手法の知識・ノウハウが理解できたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よく理解できた
- 2: 理解できた
- 3: どちらともいえない
- 4: 少し難しかった
- 5: 理解できなかった

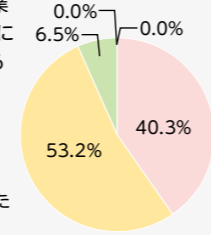


問8 理論だけでなく、演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の実践力と、それによる農業経営者育成のための指導力向上につながったかについて当てはまるものを選択してください。

Q8	人数(人)	割合(%)
1: 向上にとてもつながった	25	40.3
2: 向上につながった	33	53.2
3: どちらともいえない	4	6.5
4: あまり向上につながらなかった	0	0.0
5: 向上につながらなかった	0	0.0

問8 理論だけでなく、演習(セルフワーク、ペアワーク、グループワーク)により、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の実践力と、それによる農業経営者育成のための指導力向上につながったかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: 向上にとてもつながった
- 2: 向上につながった
- 3: どちらともいえない
- 4: あまり向上につながらなかった
- 5: 向上につながらなかった

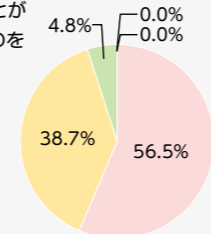


問9 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方同士の地域の課題や実践方法の情報収集、研修における受講者の方同士の様々なアイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

Q9	人数(人)	割合(%)
1: よくできた	35	56.5
2: できた	24	38.7
3: どちらともいえない	3	4.8
4: あまりできなかった	0	0.0
5: できなかった	0	0.0

問9 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方同士の地域の課題や実践方法の情報収集、研修における受講者の方同士の様々なアイデアを知ることができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった

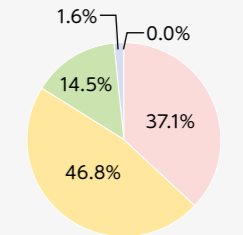


問10 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方との広域なネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

Q10	人数(人)	割合(%)
1: よくできた	23	37.1
2: できた	29	46.8
3: どちらともいえない	9	14.5
4: あまりできなかった	1	1.6
5: できなかった	0	0.0

問10 演習(ペアワーク、グループワーク)により、受講者の方との広域なネットワークを構築することができたかについて当てはまるものを選択してください。

- 1: よくできた
- 2: できた
- 3: どちらともいえない
- 4: あまりできなかった
- 5: できなかった



【研修参加の課題】

問11 研修に参加する上で課題となったことは何ですか。(いくつでも可)

Q11	人数(人)	割合(%)
1: 参加経費の確保	8	12.9
2: スケジュールの確保	41	66.1
3: 実施場所	9	14.5
4: その他	6	9.7

(理由・コメント)

(愛知県開催)

1. 農繁期の研修になってしまった。
2. 授業とのかねあいがあり、1日参加の調整が大変。
3. 実習・講義と重なっていたため、調整が必要でした。
4. 参加者が7名と少なく、最初はとまどったが綿密な指導を受けることができ、少人数形式の研修が今後も望ましいと感じた。
5. 適度に早い時期に周知されると、指導職員の都合がつけやすい。
6. 今日は授業の調整ができたので参加できたが、曜日によっては参加したくてもできなかった。

(北海道開催)

1. 特になし。
2. アクセス。
3. 年末に近く、かつクリスマスにぶつかっているため、参加させたい部下に(家庭あり、小さな子供がいる)声がかげにくかった。

(石川県開催)

1. 1週間前に本セミナーを知ったので。
2. 年末だったため。開催地を減らしても良いと思う。

(京都府開催)

1. 地元の役員を担当しているので、日程調整が大変難しい。
2. 現場を留守にしにくい。
3. 自身の仕事があるので。

(岡山県開催)

1. 京都会場に参加できなかった。
2. 2日目は開始時間を早くしてもらえると帰宅が少し楽になる。
3. なし。
4. イベントが多い月なため。
5. 特になし。
6. なし。
7. 時期をもう少し早くする。
8. 時間を作ることの大事さを改めて気付かされた。

(福岡県開催)

1. 直前に申し込んだので、受講料の情報を知らず遅くなった。県費で支出することを考えるとアナウンス用のチラシには受講料を入れておくべき。(手続きの都合上)
2. 会場とホテルは同じ駅であった方がよい。

(東京都開催)

1. 授業との関係。

(岩手県開催)

1. 今年は多くの研修に参加したから。
2. 不便でした。(食事はGOOD)

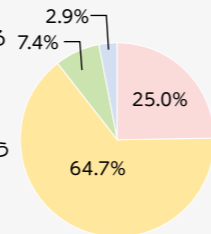
【研修参加の課題】

問12 問11の課題が解決され、来年度も「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会が実施された場合、参加したい(参加させたい)と思いますか。お考えに当てはまるもの全てを選択してください。

Q12	人数(人)	割合(%)
1: もう一度、同じ研修受入先に自分が参加したいと思う	17	25.0
2: 他の職員を参加させたいと思う	44	64.7
3: 自分には決定権がないのでわからない	5	7.4
4: 参加する必要はないと思う	2	2.9

問12 問11の課題が解決され、来年度も「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会が実施された場合、参加したい(参加させたい)と思いますか。お考えに当てはまるもの全てを選択してください。

- 1: もう一度、同じ研修受入先に自分が参加したいと思う
- 2: 他の職員を参加させたいと思う
- 3: 自分には決定権がないのでわからない
- 4: 参加する必要はないと思う



(理由・コメント)

(愛知県開催)

1. 職員が指導する方向性を揃えることが必要。
2. 他の先生にも今の方法を再確認してもらいたい。
3. 今回の内容を他の職員にも聞いてほしい。
4. 自身としては、上司からの指示、機会があれば参加したいと思う。
5. コーチングについて知らないと思われるから。
6. 参加したい気持ちはあるが決定権はない。また同じ内容であれば、他の職員の方が価値が高くなると思う。

(北海道開催)

1. 同じ内容なら参加しない。内容が変われば、考えるかも。
2. とても勉強になった。
3. 社員のレベルUPのため。

(石川県開催)

1. 一度研修を体験すると目からウロコ。
2. 就農相談を行うスタッフ全員が受講した方がよいと思う。

(京都府開催)

1. 農家であるがため、このような研修はほとんど経験することはない。
2. 他の人にももってほしいスキルであるため。

(岡山県開催)

1. 広く多くの人に聞いてもらいたい内容だから。
2. 学生を相手にする職に就く者として全職員に知ってほしい内容であるため。
3. できれば全職員に受けさせたい。
4. フォローアップ研修があれば参加したい。他の社員(マネージャー)も相談される機会が多いので是非参加を促します。

(福岡県開催)

1. 農大の先生にすすめたい。
2. 継続して情報提供してほしい。
3. 新規就農相談窓口の方に多数受講して欲しい。

(東京都開催)

1. 多くの方に学んでもらいたい。共通認識が必要。
2. 参加していただくことで学校全体が変わると思う。
3. 現場の先生と課長に参加させたい。

(岩手県開催)

1. まだまだ身になっていない。
2. 大変勉強になり人とかかわり方を学んだことを職員にも参加させたいと思いました。
3. 学校関係者を対象とした専門性の高いものであれば参加させたい。

【事業継続と社会コスト投入の意義】

問13 本事業が今後も実施される場合の社会コスト投入の意義について、お考えにあてはまるものを選択してください。

Q13	人数(人)	割合(%)
1: 大いに意義を感じる	18	29.0
2: 意義を感じる	31	50.0
3: どちらともいえない	11	17.7
4: 意義をあまり感じない	2	3.2
5: 意義はない (これだけの社会コストを投入してまで実施する必要はない)	0	0.0

【波及効果の想定】

問 14 みなさまが地域において、本研修で受講された内容を踏まえ、今後農業を目指す若者への指導等により創出する効果として、考えられるものがありましたら具体的にご記入ください。

(理由・コメント)

(愛知県開催)

- モチベーションを持って就農、就職し定着率が向上する。
- 学生の気づいていない可能性を見出す。
- 就農・就職率が向上したり、定着率が向上したりするのではないかと考えます。
- 学生の就農(法人就職)相談対応技術の向上、それによるミスマッチの少ない就業先の斡旋。
- 学生の農大教育への満足度の向上。
- 生徒から答えを導きだすので本当に生徒本人がやりたい逆にすすむ事ができ、意欲につながると思う。

(北海道開催)

- 新規就農の募集時に、承認欲求が満たせる農業についてアピールできないか検討した。
- 若者が話しやすい環境が少し増えそう。
- 新規就農者研修事業での研修生選び。
- 是非、この研修を生かし、市町村の担い手担当者にも内容を伝達したいと思う。
- 職場での伝達研修により職員の指導力向上と学生のモチベーションUP→就農率の向上が期待できる。
- 若者のモチベーションアップによる経営者としての意欲向上。

(石川県開催)

- 就農希望者の本音が聞ける。
- うまく活用できれば、就農者数の増、離農率の低下につながるスキルだと思う。是非活用していきたい。

(京都府開催)

- 自社の農作物、営業・販売・研修・マーケティング研修。
- 本人の希望や現時点の立ち位置を明確できるものと思います。
- この研修を本当に必要としている人は誰なのでしょう?受講対象を限定するほうが効果が高いと思います。
- 体験実習を主体的に申し込み、取り組むことが効果として考えられる。
- 課題の洗い出しがスムーズになる。

(岡山県開催)

- 学校内で研修報告会をすることで、農大内の指導効果が上がり、就農率、就職率が上がる。
- 学生のやる気づくり。
- 指導する側の負担(心労等)が減るのではないかな。
- 地域のリーダー育成、農業カウンセラー育成。
- 関連機関との連携のきっかけとなる(研修をとおして)。
- 就農率の向上、離職率の低下(目標を明確化させることによる)。
- 農業に十分とくんでいける人を一人でも増やすことに貢献できると思う。
- 新規就農者やIターン、Uターンの決心やスケジュールを立てる際に活用し効果を期待。

(福岡県開催)

- 新規就農者の確保。
- 若年者に対して農業も就労先になりうるというイメージアップ。
- 相談に来られる方が安心できる。
- 相談を受ける側の対応が変わることで、新規就農者の増大が見込まれる。
- 個人の特徴を理解した上での対応ができるようになる。
- フェアに話がしたい。

(東京都開催)

- 一人一人と向き合うことができる。
- 農業という広い分野への無限の人材投入。
- 学生の進路選択の拡大、職率のUP。

(岩手県開催)

- このような場がもっとあればと思います。
- 就活における自己発見について。
- 若者へというよりは経営者における効果コミュニケーション能力の向上。

【「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会の都道府県単位での実施可能性】

問 15 今後、このような研修を都道府県単位(都道府県主体:単独の予算)で課題が解決されて実施できるとした場合、参加したい(参加させたい)と思いますか。お考えに当てはまるもの全てを選択してください。

Q15	人数(人)	割合(%)
1: 自分が参加したいと思う	23	37.1
2: 他の普及指導員を参加させたいと思う	30	48.4
3: 自分には決定権がないのでわからない	9	14.5
4: 参加する必要はないと思う	0	0.0
5: 未回答	10	16.1

(理由・コメント)

(愛知県開催)

- 職員が指導する方向性を揃えることが必要。
- 授業とのかねあいや今回の内容をとりあえず実践してみて。
- 上司の指示や機会があれば参加したいと思う。
- 都道府県単位では、内輪になるので、多様性をもたせられないのでは。
- 自分も参加したいが、多くの職員が参加できる方が県全体として考えればよいと思う。

(北海道開催)

- 大変参考になったので。
- おもしろそうなら参加したい。
- 内容的に現場職員の悩みにはまる研修なので。
- 伝達研修も良いが、自分で体感することが大切と思う。

(石川県開催)

- 一度研修を体験すると目からウロコ。

(京都府開催)

- 人を雇用する時に必要な研修と思う。
- 香川で以前地域構想書作成を行った経緯があり。

（岡山県開催）

1. 普及員研修にいいと思う。
2. 自分もさらに参加したいし、他の職員にも参加させたい。職員が身につけておくべき知識、技能であるから。
3. 新規就農者やIターン、Uターンの決心やスケジュールを立てる際に活用し効果を期待。

（岩手県開催）

1. とてもよい勉強になったので。
2. 内容次第。

【「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」 研修会の参加者想定】

問 16 今回受講された研修の内容を踏まえ、農業を目指す若者の心理等を踏まえた教育手法の修得という指導力強化がなされ、指導を受ける新規就農希望者等の満足度向上・的確な指導の実施により地域の新規就農希望者等の就農率向上、及び、農業経営力を備えた将来の地域農業のリーダーとなる人材の輩出増加が期待されてゆく中で、ご本人様以外に本研修を受講すべきだと思ふ人材について、お考えに当てはまるものを選択してください。(いくつでも可)

Q16	人数(人)	割合(%)
1: 農業大学校などの地域の農業経営者育成の教育機関の講師の方	41	66.1
2: 農業高校などの地域の農業教育機関の講師の方	30	48.4
3: 研修生を受け入れている農業者の方	32	51.6
4: 農業分野の支援者・コーディネーターの方	23	37.1
5: JA 営農支援担当の方	20	32.3
6: 自治体の普及主務課担当者の方	19	30.6
7: 自治体の農林水産部門担当者の方	15	24.2
8: 就農相談を業務としている方	31	50.0
9: その他	2	3.2
10: 未回答	7	11.3

(理由・コメント)

（愛知県開催）

1. 教育手法について学んでいない農大職員には必要だと思う。
2. 派遣研修で研修先の農家の方に学生が相談することもあるから。
3. 就農相談に関わる業務を行う者にとって修得すべきスキルだと感じた。
4. 農業は、日程をあけられるかどうか。無理かもしれない。
5. 生徒の話聞きだす力や考えさせる力は高校教育の中でも、活用できると思う。また、日々の生活の中でコーチングの経験のない方を対象とするのもよいと思う。

（北海道開催）

1. 日高では、町が新規就農対策を実施しているので。

（石川県開催）

1. 自分がJAの営農指導員をしていて、今回の研修会のスキルは相談機会もないので必要なだろうと思った。
2. 農業を支援する者に共通して必要なスキル。

（京都府開催）

1. 新規就農希望者を選択するのは自治体の職員なのだから、必要な講義だと思います。
2. 実際に使いそうだから。
3. もう少しテクニックを磨いてほしい方が多い気がする。

（岡山県開催）

1. 研修は、同族内でやる場合が多い。異業種、年齢が交差する様な研修がいいのでは。
2. 学校経験者は何らかの形で、生徒とコミュニケーションをとっているが、その他の方は生徒の現状を知られないため。
3. 特に就農関係にかかわっている県職員等には十分理解してもらって役立ててもらいたい。
4. 問題課題を整理せずおしつけが多い。

（福岡県開催）

1. 農業界の採用力UPのため。

（東京都開催）

1. 社会的なものにしていく必要性あり。
2. 就農相談の窓口となるのは中堅以下の若い普及指導員だから。

（岩手県開催）

1. 受講させたいので。

問 17 2日間の研修へのご意見、ご要望、ご感想などございましたら、ご記入ください。

（愛知県開催）

1. お世話をかけ有難うございました。
2. お疲れ様でした。
3. 少人数制の中身の濃い研修でした。グループワーク等を通じた相談対応スキルの修得については今後も同じ形式と内容で続けていただければと思います。
4. 特にありません。
5. 2日間充実した時間になりました。ありがとうございました。

（北海道開催）

1. 大変参考になりました。ありがとうございました。
2. 話の聴き方など大変ためになりました。
3. おつかれさまでした。
4. 今後に続く内容のものがあれば企画して欲しいと思いました。
5. 2日目のグループワークが良かった。1日目は基本ばかりで物足りない。
6. 貴重な勉強をさせて頂きありがとうございました。
7. 2日間お世話になり、ありがとうございました。たいへん有意義な研修でした。またの機会を楽しみにしています。

（石川県開催）

1. 就農相談者に接する方は、研修した方がよいと思う。ただし、スキルとして身につけるには場数をこなさないと難しいとも感じた。

(京都府開催)

1. 全く関連の無い者にとって、きつい半面(精神的に) これからの人と人のつながりに強い影響を受けプラスに働いていけるでしょう。
2. 日程はこれくらいが限界です。研修のタイトルが内容と一致してでしょうか。
3. 丁寧でわかりやすい説明に加え、ロールプレイングで理解を深めることが出来ました。ありがとうございました。
4. 二日間お世話になりました。
5. どうもありがとうございました。自分のふりかえりになりました。

(岡山県開催)

1. 2日目の開始時間を早くしてほしい。(9:00とか)
2. 有意義な時間ありがとうございました。
3. 楽しく有意義な研修でした。ありがとうございました。
4. 知識としては十分でよかったが、技術はもう少し時間をかけてじっくりと修得できるようにしていただいたらなおよいと考える。
5. 有難うございます。

(福岡県開催)

1. 継続的に情報提供していくことが、受講者拡大につながると思います。
2. 講師も参加者も農業間ではない方の話を聴くことができたため、大変有意義であった。
3. ありがとうございました。
4. ありがとうございました。
5. 大変参考になりました。ありがとうございました。

(東京都開催)

1. 参加者を場合分けしてほしい。(年齢、経験年数など) 副校長とは視点がちがいがすぎた感じ。
2. 研修の名前をもっとわかりやすく、内容が事前に想像できるようにしてほしい。
3. ありがとうございました。

(岩手県開催)

1. 自分のモチベーションが上がりました。
2. 人数が少ないことはものすごくメリットがあったと思います。
3. 二日間ありがとうございました。



農林水産省補助事業
平成25年度 新規就農・経営継承総合支援事業のうち技術習得支援
「農業を目指す若者の心理等を踏まえた実践的対応手法」研修会
(事業所管：農林水産省 経営局 就農・女性課)

本書の転載、複写・複製、電子媒体等への転用については、
下記に記しました実施主体へのご連絡を頂き、利活用の方法等を明示された後にご利用いただけます。

平成26年(2014年3月)
実施主体：株式会社パソナ農援隊
〒100-8228 東京都千代田区大手町2-6-4
TEL:03-6734-1260 (平日 9:00～17:00) E-Mail:info@pasona-noutai.co.jp
事業担当：コンサルティング事業部 担当：佐藤・後藤・中川